



泰久寺駅
勾配の関係で泰久寺集落より少し山守側に設置された泰久寺駅だが、現在はホーム跡と駅銘板(レプリカ)が残る。廃線跡の人気スポットの一つ。現在、駅前の広場は私有地となっております。農作業の邪魔にならないよう、駐車場に留意ください。



打吹駅～西倉吉駅間
現在、福吉鉄橋も解体され、線路跡も県道として整備されており当時の面影がほとんどない区間だが、福守町付近にはレールモニュメントが、西倉吉駅は当時のホームとレールが一部保存されている。



上灘駅
駅のすぐ西側に踏切があり、運転手が列車の停止位置に特に気を遣ったという。周辺に大きな企業や県事務所、高校があり朝夕は通勤、通学客で賑わった。現在の駅舎はサイクリングロードステーションとして廃線後に建てられたものである。



天神川に向かう緩やかな勾配付近に設置されていたガーター橋を近年、歩行ができるように再整備し、周辺を倉吉線の廃線跡を活かした公園として開放している。



倉吉線鉄道記念館
打吹駅跡に整備された倉吉線の貴重な写真、当時活躍したSLなどを展示した資料館。貨物入換に使用したスイッチャーも展示。
●入場無料、年中無休
●開館時間：午前9時～午後5時



打吹駅～西倉吉駅間
福吉鉄橋ガード(当時)



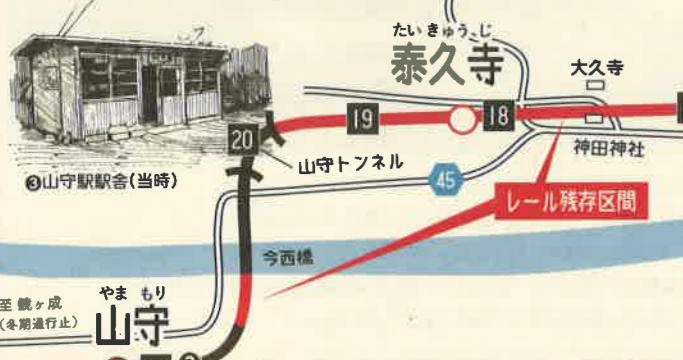
小鴨
上小鴨
かみおがも



生竹鉄橋
上小鴨～関金間にあったガーター橋「生竹鉄橋」は現在でもその姿を見ることができる。(現在、枕木の腐食が見られるため、鉄橋上への立ち入りは禁止です)



関金温泉
現在、関金駅の駅舎は解体、線路跡も県道に整備されており鉄道遺構は残されていないが、駅前だった道路には桜並木が今も残る。また公民館には「駅前公民館」の看板が掲げられ、当時の面影を見ることができる。



倉吉駅
現在の倉吉線ホームは路線バスや高速バスのターミナルとして整備され、当時の面影を見る事はできない。



竹田鉄橋
天神川を跨いでいた竹田鉄橋は現在、その姿を見ることはできないが、両岸には一部築堤が残り当時の面影を残している。



緑の彫刻プロムナード
上灘～打吹駅跡間は廃線跡をまじくくりの活性化につなげるため、日本を代表する彫刻家の作品を配置した緑と芸術の公園として整備されている。



1

打吹駅スタンプ
スタンプ設置場所
倉吉線鉄道記念館

年 月 日 ()

2

関金駅スタンプ
スタンプ設置場所
倉吉線鉄道記念館

年 月 日 ()

関金エリアの廃線跡を音声ガイドで巡る「聴き旅」端末貸し出し中
貸出場所：関金温泉観光案内（関金都市交流センター内）
料金：1,000円/台 貸出時間：10～17時
定休日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）



廃線跡探訪 1912-1985

FORMER JNR KURAYOSHI LINE TOURIST GUIDE MAP

倉吉線 旧国鉄

倉吉線の一歴史



倉吉線の案内
昭和60年3月末で廃止となった国鉄倉吉線。廃線から30年以上経った現在でもレールやホーム跡が残り、トレッキングコースとして利用されている関金周辺をはじめ、市内各所にその遺構を残しています。地元住民や観光客の足として列車が行き交った当時の面影に思いを馳せて、もう一つの鉄道旅行、廃線跡探訪に出掛けてみませんか？

国鉄倉吉線は1912年（明治45年）、当時の上井駅（現・倉吉駅）と市街地の倉吉駅（後の打吹駅）を結ぶ「倉吉軽便線」として開業したのが始まりです。1941年（昭和16年）には倉吉～関金間11.0kmが延伸開通。1958年（昭和33年）には関金～山守間4.8kmが延伸開通しました。1972年（昭和47年）1月に倉吉駅を打吹駅に改称し、同年2月に上井駅を新駅舎完成にあわせて倉吉駅に改称しました。改正鉄道敷設法により中国山地を越え、姫新線の中国勝山駅（岡山県）まで陰陽連絡線として延伸の計画（南勝線）があり起工式も行われましたが、並行するバスやマイカーの普及に勝てず建設が放棄されました。国鉄倉吉線も、整備が進んだ道路を走る運行本数の多いバスの競合には敵わず、1981年（昭和56年）9月に国鉄再建法による第1次特定地方交通線に選定されて全区間の廃止が確定、1985年（昭和60年）3月31日の山守駅22時7分発、倉吉行き最終列車を最後に72年の歴史に幕を下ろしました。

倉吉線年表

1912年	明治45年/6月	倉吉軽便線として上井～倉吉間(4.2km)が開通
1912年	大正元年/10月	上灘駅開業
1922年	大正11年/9月	軽便線の呼称廃止により倉吉線に改称
1941年	昭和16年/5月	倉吉～関金間(11.0km)が延伸開通 西倉吉駅、小鴨駅、上小鴨駅、関金駅が開業
1958年	昭和33年/11月 12月	小鴨駅無人化 関金～山守間(4.8km)が延伸開通 泰久寺駅、山守駅開業
1961年	昭和36年/10月	上小鴨駅を業務外部委託化
1962年	昭和37年/4月	関金駅を業務外部委託化
1972年	昭和47年/1月 2月	倉吉駅を打吹駅に改称 上井駅を倉吉駅に改称
1974年	昭和49年/4月 10月	蒸気機関車の運転を廃止し、ディーゼル機関車へ 4月28日米子～関金間でSLさよなら列車運転 関金駅の貨物取扱を廃止
1981年	昭和56年/9月	第1次特定地方交通線として廃止を承認
1983年	昭和58年/12月	西倉吉駅、打吹駅の貨物取り扱いを廃止
1985年	昭和60年/3月	全線を廃止しバス路線に転換

倉吉線を走った車両たち

Type of vehicle of Kurayoshi Line



倉吉線データ

- 路線総延長距離：19km810m【倉吉～山守間】
- 路線高低差：180m【倉吉駅海拔11m、山守駅海拔191m】
- 路線再急勾配：25/1000‰【上小鴨～関金間、関金～泰久寺間】※1,000m進む毎に25m登る
- 路線再急曲線：R=261m52【倉吉～上灘間の松崎街道前後】※半径261m
- 橋梁数：11か所／●架道橋：7か所／●踏切数：46か所

●旧国鉄倉吉線の廃線跡は倉吉駅から終点の山守駅跡まで約20キロあります。散策にはレンタサイクル（倉吉白壁土蔵群観光案内所）に壁有貸出あり、路線バス利用が便利です。
●廃線跡は現在、公道道路や公園になっていく箇所が多くあります。交通規則や利用規則に従い、他人の迷惑となるような行為は慎みましよう。またマイカー利用の際の路上駐車や、私有地の無断立ち入りは絶対に止めください。
●廃線跡はみんなの貴重な財産です。一人一人の心がけてこの貴重な鉄道遺産を守りましよう。

廃線跡散策の心得